

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスまリモ平野東&		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 7日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和年 2月 7日		～ 令和年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して通所していること	利用者が安心できるようなレイアウトやスタッフトレーニングを行っている	左記を引き続けていく
2	職員同士のコミュニケーションを大切にしていること	定期的にミーティングを行いチームビルディングを行っている	チームビルディングを高めるために内部外部研修を厚くしていきたい
3	子どもの目線に立つことを意識していること	大人のペースではなく子どもがどうしたいか、どう感じているかを尊重しながら関わっている	言葉だけでなく、表情や仕草にも気を配り、子どもが伝えたいことを汲み取る力を養う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の環境や活動内容にマンネリ化が見られる	子どもによっては、繰り返しの活動に飽きてしまっている	活動にテーマ性を設け、新しい遊びや体験を取り入れる
2	子ども同士の関わりに偏りが見られるときがある	男女比や年齢に差があるため	性別や年齢にに関係なくグループで取り組む活動を増やし、協力しながら楽しめる機会を提供する
3	子どもたちへの支援の在り方がスタッフによってばらつきが見られることがある	情報共有が部分的で一貫性が取れていないことがあるため	支援のあり方について情報共有をしっかりと行い、統一された支援をできるようにしたい